

国有林野における「ニホンジカ捕獲応援（国有林の見回り隊）」発足

～安全講習会を受講しました～

9月15日、遠野市材木町において、森林管理署職員等がニホンジカ捕獲補助者として活動するための、「ニホンジカ捕獲補助者安全講習会」を受講しました。



遠野市においては、岩手県の「第13次鳥獣保護管理事業計画」に規定されている「狩猟免許を所持しない者が、補助者として捕獲に従事できる」という制度をもとに、農地でのニホンジカ被害対策と捕獲向上を図るために「ニホンジカ捕獲応援隊」を設置し、狩猟免許を所持しない農家（応援隊）が、狩猟免許を所持する猟友会（実施隊）の補助者とした活動を展開しています。

この制度を活用して、「狩猟免許を持っていない森林管理署等の職員でも、国有林内でニホンジカの捕獲応援が出来ないか」と考え、「ニホンジカ等被害対策協定書」を締結している遠野市、遠野猟友会と協議し、この協定の中で発足したのが、国有林野における「ニホンジカ捕獲応援（国有林の見回り隊）」です。

「国有林の見回り隊」として活動するためには、遠野市が主催する安全講習会の受講が必須となります。当日は、遠野市及び実施隊（遠野猟友会）の3名の講師により、捕獲補助者としての役割や安全教育、囲いワナの仕組みと注意点について講義を受けました。初めて囲いワナに触れる職員がほとんどですので、みんな興味津々です。



受講後、遠野市から受講者（請負事業者3名・遠野支署職員14名）に「捕獲補助者認定書・従事者証・腕章」が交付されました。「国有林の見回り隊」の誕生です。

ワナの設置は来週で、捕獲開始は9月末からとなります。講習会終了後は、「このワナで、捕獲の成果があればいいな」と願掛けしながら、「国有林の見回り隊」（職員）でワナの組み立てや仕掛けの準備を行いました。

（報告 岩手南部森林管理署遠野支署 芦野）